

北広島団地内小学校の統合についての報告会

と き 平成 21 年 2 月 3 日 (火)

ところ 高台小学校 視聴覚室

じかん 19 : 00 ~ 19 : 40

参加者 11 名

市長部局 企画調整課長 木下 信司
児童家庭課長 八町 史郎
土木事務所長 槌本 英秋

事務局 教育長 白崎 三千年
管理部長 小菅 敏博
教育施策推進担当参事 工藤 正
主査 川合 隆典
主事 木村 洋一郎
教育相談員 宮村 昭

-
- 開 会 19 : 00 進行司会 小菅部長
 - 出席者自己紹介 19 : 00 ~ 19 : 05
 - 教育長挨拶 19 : 05 ~ 19 : 10
北広島団地内小学校の統合及び本日の報告会の主旨説明
 - 統合決定までの経過について説明 19 : 10 ~ 19 : 30
工藤参事から、資料に基づき説明
 - 参加者からの意見、質問 19 : 30 ~ 19 : 40

事務局 それではこれから質疑応答に入らせて頂きます。

住 民 高台小学校と緑陽小学校は平成 24 年 4 月から新しい学校に統合します。今ですと 1 学年 2 クラスはできるようですが、以前の説明会では、子どもの数が非常に少なくなつて、統合してもまた 1 クラスになると思います。そうなりますと、中学校卒業までの 9 年間で 1 クラスになります。教育委員会では中学校の統合も考えているのでしょうか。

事務局 中学校の統合につきましては、説明会でも出されておりました。今回の統合については、小学校の適正規模の答申を基に、できるだけ近い校区の中で統合の組合せを考えています。今のままで人口が推移していきますと、統合をしましても 1 学年 1

学級が想定されています。ただ、できるだけ多くの子どもたちの中で教育を受けさせることや、通学の不安から高台小学校と緑陽小学校を統合するという決定をしております。

中学校につきましては、小学校の統合について一定の整理がついた段階で検討に入りたいとご説明をしてきております。それで、その時期についてですが、現在は小学校の統合について進めていますので、今後の状況等をみまして、皆様方のご意見も伺いながら考えなければならないと思っております。ただ、中学校の統合については「同じ子どもが統合を2度経験させないで欲しい。」という強いご意見もありました。こういった点も含めて、検討していかなければならないと考えております。

事務局 他にご意見等はございませんか。

無いようでしたら、最後に教育長からお話をさせていただきたいと思えます。

教育長 私ども教育委員会は、説明会の際にもお話させていただいておりますが、常に子どもたち一人ひとりの成長のために、どのような教育環境の整備が必要であるかを考えていくことが大きな役割であると思っております。そのことを訴え続けて多くの方が理解していただいていることも強く感じております。

さきほどもご挨拶の中で言わせていただきましたが、今、日本の教育は大きな転換期を迎えております。子ども一人ひとりの確かな成長を図るために、どうあるべきかにつきましても教育実践の中で、先生方も大変工夫をされています。しかし、何度もお話をさせていただいておりますが、多様な教育活動、豊かな教育活動を展開するためには、ある程度の子どもの人数確保が重要になります。したがって、環境が変わることに対して不安をお持ちの保護者の方も多くおられますが、この不安を解消していくことが、これから平成24年4月に向けての私どもの大きな役割になります。また、保護者・地域の皆様方・学校とともに、このことについて考えてまいりたいと思っております。統合後は高台小学校の校舎を使用することになりますが、保護者を含めた緑陽小学校区の皆様と一緒に、新しい学校づくりに向けて取り組んでいくこととなりますが、このような場面だけではなく、どのようなことでもかまいませんので、日常的にお気づきの点、ご意見などを含めて教育委員会の方へお寄せいただきたいと思います。本日はありがとうございました。

(注) 発言を要約したものであり、発言すべてを記述したものではありません。